草加市立歴史民俗資料館

れきみんだより vol.13

展示中の雛飾り（明治・昭和・平成時代）と御殿飾り

企画展「桃の節句展」開催中

会期：令和４年２月１日（火）～３月６日（日）

今年も桃の節句の季節となりました。

当館恒例の企画展「桃の節句展」ですが、近年は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、会期の短縮を余儀なくされる事態が続きました。現在も感染対策に注意する日々が続いていますが、そのような中でも、企画展を開催できることの嬉しさを感じております。

企画展では、明治・昭和・平成時代の雛飾りを始め、御殿飾りや源氏物語貝合わせなど、桃の節句に関連する資料を多く展示しております。また、市民の方が制作されたつるし飾りも展示し、会場を華やかに盛り上げます。

そもそも、「桃の節句展」を始めとする節句行事は、厄を祓ったり、健やかな健康や長寿を願う風習です。このような時期だからこそ、節句行事に込められた願いを強く感じます。

皆さんも企画展を見て、節句行事に込められた願いを感じていただけたら、幸いです。

ご来館をお待ちしています。

◆資料紹介　第１３回　俳人百家撰

芭蕉翁（拡大）

安政 2 年（1855）に江戸甘泉堂和泉屋市兵衛より刊行された俳人 100 人を人物画、略伝、代表的な句で紹介した伝記集です。撰者の緑亭川柳（水谷緑亭）は川柳の祖である柄井川柳から数えて五世に当たる、江戸時代後半に活躍した川柳作家です。書は楓園玄魚、画は雄斎国輝（歌川国輝）の筆によります。

資料は、先ず芭蕉庵旧蹟の紹介を載せ、西山宗因・松尾芭蕉ら先哲や蕉門十哲の像、さらには「往古の発句体」や「職人尽発句競」と称した職人の挿画と古人の発句を百人一首の札のように並べてみた画などが続き、その後は半丁（1 頁分）に 1 人の割合で、100 人の俳人を紹介しています。

取り上げる俳人は、俳諧の祖と伝わる荒木田守武に始まり、宗祇法師、山崎宗鑑、松永貞徳、松尾芭蕉といった著名人が名を連ねます。また、緑亭川柳の好みによるのか、特定の流派に属さない俳人を取り上げているのも大きな特徴です。

いずれも、上段には略伝、下段には人物画と句が散らし書きする体裁となっています。

一例として、松尾芭蕉の紹介を見てみます。芭蕉は「芭蕉翁」と記され、画は笠を持っています。『おくのほそ道』などの旅で知られる芭蕉を意識した構図でしょうか。

画の周囲に配された「物いへば　唇寒し　秋の風」は、芭蕉の座右の銘として紹介されることが多く、「口は災いの元」の意味でことわざとしても使われている一句です。

上段には、伊賀上野（三重県伊賀市）に生まれてから元禄 7 年（1694）に亡くなるまでの芭蕉の事績が簡潔に記されています。特に文中の「生涯行脚に杖を引て松島の曙の花に笑ひ象潟の雨の夕べに草鞋の紐を直し姥捨の月に露けき袖を絞り冨士吉野の名に対して吾に一字の作なしと古をはばかり世の中をうしろにして山栖に心をすまし本草の色香をわかち百千の鳥の囀りよりひばりのはつなきをあわれみ」は、旅を栖とした芭蕉の後半生を端的に書き表しています。

江戸時代末期の文化人による、俳人たちの人物評をうかがい知ることができる、貴重な資料です。

◆れきみん歳時記（令和３年10月～令和４年１月）◆

歴史民俗資料館で開催した講座やイベントなどの取組を紹介します

10月　火消から消防へ

秋季企画展「火消の歴史」を開催しました。消防器具や草加市の消防組織の変遷に関する資料を展示し、私たちの生活を守ってきた消防の歴史を紹介しました。

12月　方言漢字の世界

特定地域でのみ使用されている漢字を方言漢字と呼ぶそうです。れきみん講座で、昼間良次さんに草加地域周辺で確認できる方言漢字を紹介いただきました。

11月　空から眺める昔の草加

小学校３年生は、社会科で「まちの様子の移り変わり」を勉強します。そのため、社会科見学の際は、各小学校周辺の航空写真（市政施行時・開校時・現在）を活用して、街並みの変化を紹介しました。

1月　この時期、人気の糸車

３学期になると、各学校から「糸車」の貸出依頼が相次ぎます。どうやら、国語の授業で「たぬきの糸車」を学習するとき、紹介するそうです。授業で活用できる資料をリスト化しようと思いました。

◆企画展の次回予告

タイトル：「端午の節句展」

開催期間：令和４年４月26日（火）～５月31日（火）

市民の方々が制作したミニ鎧兜や武者人形、つるし飾りを展示します。また、開催期間中は、鯉のぼりを揚ます。

なお、新型コロナウイルスの状況により、内容は変更になる場合があります。

新緑の季節にピッタリの企画展です

◆れきみんブックレット配布しています

資料館では、草加の歴史文化を多くの方々に分かりやすく紹介するため、れきみんブックレットを創刊しました。

資料館や漸草庵百代の過客（ぜんそうあんはくたいのかかく）で配布しています（無料）。

ぜひ、ご覧ください！！

草加市立歴史民俗資料館 facebookやってます！！

いいね！

皆さんに草加市の歴史や文化、資料館の活動を伝えたくて
公式フェイスブックページを開設しています。
様々な情報を発信していきますので、ぜひご覧ください！

草加市立歴史民俗資料館

市公式ホームページ内の SNS ページまたは隣の
QR コードからアクセスすることができます！

草加市立歴史民俗資料館

【 開館時間 】 午前９時～午後４時30分

【 休 館 日 】 月曜日（祝日または振替休日の場合は翌平日）
年末年始

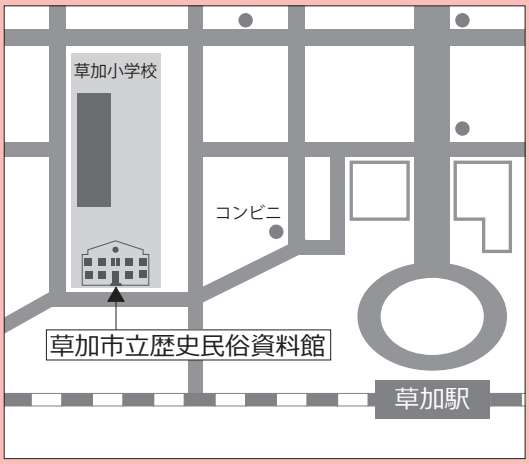
【 入 館 料 】 無料

〒340-0014

埼玉県草加市住吉一丁目11番29号

TEL:048-922-0402　FAX:048-922-1117

E-mail:sokarekimin@city.soka.saitama.jp



東武スカイツリーライン「草加駅」東口徒歩７分
駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

れきみんだより　vol.13
発行日：令和４年（2022）２月20日　編集・発行：草加市立歴史民俗資料館